

令和元年度(2019年度)第4回三者懇談会（吹田市立西山田保育園）

- 1 開催日時 令和元年6月15日(土) 午後7時5分～午後8時45分
- 2 開催場所 西山田保育園 遊戯室
- 3 出席者 西山田保育園保護者会長、その他保護者33名
社会福祉法人耕心会（耕心会理事長、耕心会事務長、吹田くすのきこども園主事、その他合同保育担当職員3名）
吹田市児童部保育幼稚園室職員（保育幼稚園室長、保育幼稚園室参事、保育幼稚園室主幹、西山田保育園長、西山田保育園長代理、西山田保育園保育士、西山田保育園看護師）
- 4 議題
 - 1 合同保育について
 - 2 写真販売・布団の取扱いについて
 - 3 質疑応答
- 5 議事要旨

1 開会

吹田市： ただいまから第4回三者懇談会を開会いたします。はじめに資料の確認をさせていただきます。

（資料の確認）

2 出席者紹介

吹田市： 三者懇談会の出席者の皆さまについて御紹介させていただきます。

（出席者紹介）

3 合同保育について

吹田市： 4月から合同保育が始まり、実際に耕心会の職員の方々にお越しいただき、引き続きを行っております。園長から合同保育の状況について報告させていただきます。

吹田市： （西山田保育園長）合同保育のねらいについて、3点あります。まず、1点目が合同保育の中で園児の状況や保育内容などを把握して、各クラスの園児の育ちを

理解する。2点目がクラスで大切にしていることや配慮していることなどを伝えて、保育内容を共有する。3点目が園児や保護者との信頼関係を築くという3点をねらいにして、6月まで進めてきています。

4・5月は西山田保育園をまず知ってもらうため、子供たちとの関係づくりやクラスの保育に入ってもらうことを大切にしてきました。特に4月は混乱期の保育も見てもらいました。新しいクラスになり新入园児が多くいる中で、混乱が大きいクラスに入ってもらったことで、子供たちが早くに落ち着いて生活することができて、とてもありがたかったです。6月からは朝夕の当番保育にも入ってもらい、子供たちの様子を知ることや保護者の方と顔を合わせて、お話ができる機会になればと考えております。

合同保育の職員さんと月2回合同会議を持って、入るクラスの確認や毎月の行事計画の進め方や運営面などを伝えております。また、合同会議とは別に担任も参加しての反省会を開き、保育や子供たちのことを丁寧にお伝えしております。

3人の合同保育の先生方は、何事にも積極的でわからないことがあれば自ら尋ねられます。子供たちとよく遊び、子供たちも先生方のことを大好きになり、関係がついてきています。園庭整備、どろんこのお山づくりなども手伝っていただき、とても助けてもらっています。また、そうした場面を記録としてしっかりと写真を撮って、来年度に活かす工夫をされています。

カリキュラム会議や発達支援会議にも参加してもらい、保育指導計画や子供たちのことなどを話し合っ、配慮することなどを一緒に共有しています。その他、吹田市の研修にも一緒に参加して学んでおられます。

先日、園長予定の馬込さんが来られて、西山田保育園で大切にしていることなどをお伝えしました。1月から担任予定者となる合同保育の先生も月に1度来られて、誕生会やリズム遊びなどに参加されています。また看護師予定の方も内科健診、歯科健診に来られています。保護者会の新入歓迎会にも3名の方が参加されています。

吹田市： 本日は、現在西山田保育園で合同保育を行っている耕心会の職員の方々にも御参加いただいておりますので、実際に合同保育を行って感じられたことや今後の課題などがあればお話ししたいと思っております。

耕心会： （神村保育士）私は4月に3歳児クラス、5月に0歳児クラス、そして今は1

歳児クラスに入らせていただいています。初めて3歳児クラスの保育に入らせてもらった時は、子供たちが誰だろうという感じで見たり、聞きに来たりしていましたが、毎日保育に入らなれど自然と遊びに誘ってくれたりして、一緒に過ごすことができました。5月は0歳児クラスに入りましたが、園庭や廊下で3歳児クラスの子供たちと会った時に、3歳児クラスにいつ来てくれるのか、今どのクラスにいるのなどと声を掛けてくれます。空いた時間や園庭に出た時には、今まで入ったクラスの子供たちとの関わりを大事にしていき、継続して子供たちとの関係づくりができればと思っています。

西山田保育園の職員の方とは、私たちがこの園でできることはなんだろうという話をよくします。西山田保育園の職員の方も私たちも思っていることは、今いる子供たちがこの先も安全に楽しく保育園生活を送ってほしいということです。そのため、私たちは今の西山田保育園で大事にしていることや保育のねらいなどを、西山田保育園の職員の方に何度も聞いております。それに対して、丁寧にすべて答えてくださいます。職員の方とコミュニケーションをとって、引継ぎをスムーズにしたいという思いもあります。何より来年4月以降も子供たちに保育園に安心して来てほしいですし、保護者の方と気軽に話ができるように今しっかりと関係づくりをしていきたいと思っています。

合同保育で感じることは、各年齢の発達をしっかりと把握されたうえで保育をしていて、子供一人ひとりをすごく丁寧に見て、その子に合った対応をされているということです。私もしっかり見習わないといけないと感じています。

課題としては、公立はリズム遊びをしっかりとやっていますので、来年4月以降も始められるように職員と研修を行って、できるようになっていきたいと思っています。また遊びの中で、ごっこ遊びをすごく大事にされているので、ごっこ遊びに参加しながら勉強していきたいと思っています。保護者の方々とは、今後懇談会等で顔を合わせて関係づくりをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

耕心会：（櫻井保育士）私は主に幼児のクラスの引継ぎをしております、4月は5歳児クラス、5月は4歳児クラス、6月は5歳児クラスの保育に入っています。子供たちの4月の姿としては、とても人懐っこく、先生の名前を聞いてくれたり、遊び方を教えてくれたり、今日はどこのクラスに行くかを聞いてくれたりします。

保育を引き継ぐうえで私たちは、現場で働かれている先生方の邪魔にならない

ように保育や行事などを見させていただいております。その中で、職員一人ひとりの意識が高く、こういう保育がしたい、こういう行事にしていこう、こういう子供の姿になってほしいというねらいなどが細かく配慮されていると思います。その情報の共有でありますとか、人間関係、コミュニケーション、そういう意識の高さというのが西山田保育園の保育観ではないかなと思っております。

保育以外でも園庭の整備やどろんこで泥田を作ったりして、子供たちの保育に関わってこられていると思います。もうちょっとこういうふうにしたら子供たちが過ごしやすいのかな、皆様が安心して過ごせる保育園作りはどのようにしたらいいのかなあとということを日々考えております。

これから行事が増えていきますので、担任の先生のねらいなどを細かく見たり、質問したりしていきます。西山田保育園の先生方はすごく丁寧に教えてくださるので、そういうところを学びたいなあと思っています。

保護者の皆様とも朝と夕方に顔を合わせるだけだったのですが、今後早番や遅番に入れさせていただいて、コミュニケーションをとっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします

耕心会：（小坂保育士）私は主に乳児のクラスを中心に入っております、4月は1歳児クラス、5月は2歳児クラス、6月は0歳児クラスに入らせていただいております。子供たちも私もはじめましての状態なので、子供の顔と名前を覚え、子供とたくさん遊んで関わりながら関係をよりよくすることが大事なと思ってクラスに入らせていただいております。1歳児クラスの4月は進級児よりも新入園児が多く、先生が誰かわかっていないので、子供たちが朝泣いたりしていました。毎日保育をする中で朝お母さんと来ても、一緒に遊ぼうと言ったらこっちに来てくれたり、抱っこしたら落ち着いてくれたりして、徐々に関係を深めていけたかなと思います。

2歳児クラスに入らせてもらおうと1歳児クラスとは違って、子供たちが見通しを持って活動できるように先生方が気を付けて見ておられました。先生方の中でこれができるようになってほしいという願いがあると思うのですが、子供の今の姿をよく見て、それに見合った生活や導線をととても大事にされているなと思いました。1か月が経って子供が落ち着いてくると、子供の環境や先生達との関係も変わってくるので、先生方が部屋の使い方をどうしようと悩まれて話し合われています。そういった状況を見て、私たちも来年同じような道を通っていくと思

ますので、先生方が今悩んでいることを共感できたかなと思います。

1か月ごとに各クラスに入っていますが、0歳児クラスでは2回睡眠をしており、お昼寝している時間に他のクラスのごっこ遊びやどろんこ遊びなどに関わらせていただいて、3、4、5歳児の子供たちともお話をし、お名前とお顔を覚えております。お話が上手だと思いますし、遊びに誘ってくれるので、どんどん関りを増やしていきたいと思っています。子供たちと接する時に子供たちが笑顔でいてくれる存在になりたいと思っています。

西山田保育園の先生方はとても優しく、私たちがわからないことを質問すると、すごく丁寧に答えてくださいます。また、先生方から園の設備のことや子供たち一人ひとりのことを教えてください。この子にはこう言って伝わるけど、別の子には伝わりにくいとか個人差があることを教えてください。すごく丁寧に子供たち一人ひとりと向き合っているなあと感じました。私たちもどんどん吸収して新しく来る先生方に伝えていけたらなあと思っています。

私はこの園に来て初めて、どろんこやリズム遊びをさせていただき、どろんこ遊びで子供たちが豪快に遊ぶ姿を見て、とてもいい環境だなと思いました。また、泥田も気持ちよく、どろんこではできない様々な感触が味わえるのでとても子供たちにとっていいなあと思いました。

今後もクラスに入らせていただき、子供たちと関わりながら遊びや生活、行事などを見せていただきたいと思います。また、保護者の方にもお顔を覚えていただいてお話もたくさんして関りを増やしていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

吹田市： ありがとうございます。続きまして、西山田保育園の保育士からも実際に合同保育を行って感じたことなどをお伝えいたします。

吹田市： （保育士）5歳児クラスの担任です。5歳児クラスには4月と6月に櫻井先生が入ってくれています。子供たちとの関わりを大事にさせていただいていますし、保育にも積極的で気づいたことやわからないことなどを質問してくださっています。日々クラスに入っている中で、子供たちの姿を中心とした保育の視点や大事にしたいことなどを伝えて共有させてもらっています。その中で私がすごく印象に残っていることをお伝えできればと思っています。

朝の打ち合わせ時に、5歳児クラスで育てていた玉ねぎを抜くということを伝

えたところ、櫻井先生と神村先生が見学したいと言ってくださいました。今まで大事に育ててきたことを子供たちに伝えるとともに、収穫できたことを各クラスの子供たちに見せに行き、収穫した玉ねぎを一泊保育のカレーを作る時に使うという話を子供たちにしました。小さいクラスの子供たちにとって、5歳児クラスになったら同じようなことができるのだなという憧れが大きくなります。毎年当たり前にしてきたことを、しっかりと伝えて引き継いでいくことが大事だなあと感じました。5歳児クラスの保育を伝えるだけじゃなくて、西山田保育園全体の保育を伝えていることにもなるのかなと思った一日でした。これから一泊保育の行事が近くなってきますので、様々なことを一緒に考えて伝えていけるようにできたらいいなと思っています。

吹田市：（保育士）私は0歳児クラスの担任をしています。4月から合同保育がスタートしまして、5月は神村先生に入ってください、今月は小坂先生に入ってください。

1歳児クラスに4月は小坂先生に入ってもらったのですが、西山田保育園では、1歳児クラスは新入園児が多いため、一番大変な混乱期を毎年迎えています。0歳児の6人から1歳児は17人になります。新入園児の子供たちは毎日、ママと言って泣き叫んでいます。そういった大変な時期を一緒に乗り切ってもらいました。4月はとても大変ですが、お預かりしたお子さんが泣いていても、1日のどこかで機嫌がよくなり保育園で楽しく過ごしてもらえるように、全力で頑張ります。抱っこして機嫌がよくなるのであれば抱きますし、機嫌がよくなったなと思ったら降ろして、一緒に遊びます。そういうことを毎日繰り返していくうちに子供たちとの関係が段々ついてきて、4月前半は泣いていたけれども、4月後半にはちょっと笑うようになり、5月の連休明けには泣かずに過ごせるようになっていきます。そういった大変な時期を一緒に担ってもらって、すごく心強い存在でした。

その中でも、1歳児クラスの4月の混乱期をどうやって乗り切っているのかといった率直な疑問をすぐ聞いてくださるので、私たちもその場ですぐに答えることができます。3人の先生方は西山田保育園の保育を引き継ぐという意味をしっかりとっておられるので、質問されて答えたことに対して納得してもらえて、一緒にスムーズな保育ができてきているなと思います。

0歳児から2歳児は、今の時期に大人にうんと甘えたり、大人が気持ちよさや楽しさなどを与えてあげたりします。そういったところから大人と共感して段々お

友達と一緒につながる後半期を過ごしていきます。子供たちがどんどん育っているので、育ちのところを見ながら私達も保育を丁寧に伝えております。今年の西山田保育園の保育と一緒にやっていく仲間として、子供たちのことや保育などを引き継いでいるところです。これから、どんどん子供が育っていき保育内容も変わってくるので、その都度聞いてもらいながら、きっちり伝えていこうと思います。いい感じに保育を進められる一年になってほしいと今みんな頑張っているところです。

吹田市： ありがとうございます。耕心会と西山田保育園では、2園会議を開催しながら様々な協議を行っているところです。現在の引継ぎ状況について西山田保育園長からお伝えいたします。

吹田市： （西山田保育園長）今後、主任の神村先生には全クラスに入っただき、全体の様子を見てもらいながら引き継いでいく予定です。櫻井先生には幼児クラスを中心に5歳児クラスの行事を1年通して見てもらい引き継いでいく予定です。小坂先生には乳児クラスの保育を中心に入っただき、全体の行事にも参加していただきます。

現在、クラスの保育や子供たちの状況を把握し、クラスで大切にしていることや配慮などを伝えて保育内容を共有しています。各行事の引継ぎや行事の実行委員さんとしても参加していただき、行事を作っていく過程も伝えております。

地域との関連行事では、耕心会の重田事務長にも来ていただき、弘済院さんとの交流やJAさんとの玉ねぎ収穫などの引継ぎができました。育児教室や赤ちゃん会などにも参加していただき、地域支援事業の引継ぎもしております。

その他、合同保育に来る看護師さんにも健診などに参加していただき、随時引継ぎをしております。今後、栄養士さんも耕心会から来ていただき、給食室に入られて離乳食や幼児食などを作る様子を見ていただきます。

4 写真販売・布団の取扱いについて

吹田市： 移管後の写真販売・布団の取り扱いについて、耕心会から御提案があるとお聞きしています。

耕心会： まず布団についてお話をします。また資料が必要でしたら準備させていただきます。現在、新入園児さんの布団は在園児さんが卒園されたものをリサイクルして使っていて、あとは廃棄する布団もありますので、新しい布団を提供されていると伺っております。

布団の御提案につきましては、リサイクルのものを使用するか、御家庭からお布団を持ってきていただくかの選択制でさせていただきたいと思います。来年度は吹田市で布団のリサイクル費用をまだ出してもらえますので、新入園児さんにつきましては現在と同様です。再来年度については布団を御自宅からお持ちいただくということで御提案させていただきたいと思っております。

提案理由としては3点ほどございまして、1つ目はリサイクル料金の負担が吹田市から耕心会に移りますので、負担を少しでも減らして保育の財源に充てたいと思っております。

2つ目が、現在、藤白台保育園の保護者さんの中で布団を持ち帰りたいという声を何人かお聞きしましたので、布団を御家庭から持ってこられると持ち帰りが可能になります。

3つ目は今使っている布団のサイズが特殊なため、シーツを上下ともに購入をいただいております。お漏らしなどした場合に備えて2枚セットくらいで購入されていると伺っております。そのあたりの負担を考えて御提案しております。

現在、布団は保護者の皆さんで干していただいていると伺いましたので、それは変更せずに行きたいと思っております。しかし、布団の仕様がばらばらになりますと、干す際に困ることが出てくると思っておりますので、新入園児の保護者の皆様には干しやすい布団でお願いしたいと思っております。

耕心会： 続いて写真の販売について御提案させていただきます。今回、御提案させていただきます販売方法は、現在耕心会の園及び藤白台保育園でも御利用いただいております。保護者会様で話し合ってくださいまして、三者懇談会の時に御回答いただければと考えております。決定となりました後に、業者の選定や具体的な交渉を行ってまいりますので、今回の内容と多少変わることがあるかもしれませんが、その場合にはまた御報告させていただきますので予め御了承ください。

まずは現行の販売方法についてです。現行の販売方法のメリットは値段が安いということです。ただし、デメリットとしてお忙しい保護者の方はゆっくりと写真を選ぶ時間がないですし、送迎に来られる方しか写真を見るができないと

考えております。

それに対して、今回御提案させていただきますWEB販売の特徴としては撮った写真を園が選んで、業者が運営しているサイトにアップロードします。保護者の皆様にはパスワードを発行しますのでサイトにアクセスしていただき、パスワードを入力すれば写真の一覧を見ることができます。写真の一覧を見ながら欲しい写真を選び、御注文してもらえれば完了いたします。注文後は、業者から皆様の御自宅に直接お届けいたしますので、現行の販売方法よりも納期が短くなるかと考えております。さらにパソコンやスマートフォンなどから24時間いつでも閲覧して購入ができます。お忙しい保護者の方でも通勤電車の中や御自宅に居ながら御家族で話し合っ、写真を選び注文することができます。デメリットは、パソコンやスマートフォンなどを使用しないといけないので、そういった機器をお持ちでない方や操作が苦手な方には、注文が難しいということです。ただし、対応策としては園に写真販売用のパソコンを用意いたしますので、園の事務所で写真を見ながら御注文していただこうと考えております。

以上が御提案の内容になります。最後に、現在も同様だと思いますが子供たちを保育するのが保育士の本分でございます。写真撮影は、保育に支障のない範囲でお子様の様子を少しでも保護者の皆様にお伝えしたいという思いで行ってまいりますので、御理解のほどよろしく願いいたします。

5 質疑応答

吹田市： 事前にいただいた保護者の皆様からの御質問等に回答いたします。

(吹田市から回答)

(耕心会から回答)

吹田市： 合同保育に関することや、写真販売・布団に関することも含め、保護者の方からお聞きになりたいことがあれば、御発言いただきたいと思います。

保護者： 耕心会の回答の中で「保育士の確保が厳しい中、まずは目標人数の確保を最優先に考えています。」という文言がありますが、もし保育士を確保ができなかった場合、どうされるのかを聞きたいです。

また、回答の中で「バランスの良い採用を考えています。」という回答をしてお

られますが、具体的にどれくらいの経験年数の保育士の採用を考えていますか。保育の水準を保つためにも経験者のバランスがすごく大事なポイントだと思っているので、お願いしたいと思います。

西山田保育園で今働かれている職員の経験年数も教えてください。耕心会の回答で3年以上経験の保育士数を基準としているので、同じように答えていただけたらと思います。

耕心会： 保育士の採用は厳しい状況です。20年、30年以上経験のある保育士を採用したいと思っておりますが、経験のある保育士は不足しているのが実情でございます。そういう経験年数のある保育士は、今いる園で重要なポストについており、転職を希望されることがなかなかないため、採用することが難しくなっております。また、転職を希望していたとしても、自分の中でこういう保育がしたいという方が多いので、マッチングが難しくなっております。

採用におきましては、いろんな希望がございまして、保育士によっては行事や休日出勤が少ない小規模園を希望されるというような話もあります。保育士さんの希望するニーズで転職されているということを御理解いただければと思います。

今回採用させていただいた先生の中には、若い先生や経験年数が短い先生もいます。3年以上というのは吹田市の条件にございましたので、表記させていただいております。経験年数が短い先生が民営化園に応募する理由として、吹田市の公立保育所の保育に興味があったり、自分自身の保育の幅を広げたりしたいということがあります。耕心会では人材育成することが大切だと考えておりますので、採用した先生には理事長をはじめ、理事の方から耕心会の理念や保育についてお話をしていきます。また、民営化園の引継ぎのことなどもしっかりお伝えして、保育の質を高めていきたいと思っております。

吹田市： 民営化に手を挙げていただくにあたっては、法人の方もそれなりの思いや覚悟があって来ていただいて、選定委員会などでお話を伺っております。私どもとしては、人を揃えてもらう、保育をつないでいくことにしっかり取り組んでいただけることなどを信頼してお任せする立場にあります。

耕心会に関しては、この4月からの合同保育職員3名でお願いしているところを、4名来ていただいておりますので、しっかりやっていただけるという思いが伝わってきます。

私どもとしては、土地代として年間約500万円発生するものを、市が負担して10年間無償としていますので、そこはしっかりサポートをさせていただいております。浮いた費用は人件費に回していただいたり、いろんな保育の質の向上のために充てたりしていただきます。

改修工事については、今年度させていただく予定で、耕心会さんや皆さんから御意見を伺い、予算の許す範囲でやらせていただきたいと思います。また、公立保育所で行う修繕とは別に民営化園については、別で修繕の予算を設けて、気になる箇所を実施しております。

吹田市：（西山田保育園長）西山田保育園の保育士は3年目を迎える保育士が1名います。その他の正規職員は幼稚園経験を含めると10年以上の経験年数があります。

保護者： 人材採用について補助金の要望です。耕心会さんで人材採用を努力されていますが、保育士の人材が不足していて厳しい状況だと伺えました。先行して民営化している他園でも、民営化にあたって法人さんで一番苦勞されたことは人材採用だったと聞いています。

公立保育所で運営するのであれば、吹田市の予算ですべて賄わないといけないと思いますが、民営化することによって国からの補助金なども受けられるので、吹田市の予算に余裕が出てくると思います。また、浮いた分の予算を他の子供のこのために使えたりしますということを以前に御説明があったと思います。

吹田市の回答の中で側面からバックアップするということがありますが、直接人件費についてバックアップしてほしいです。西山田保育園が民営化されて浮く予算があると思いますので、民営化する法人が一番苦勞している人材採用のサポートをしていただきたいと思います。

他の自治体では国の制度を使っていると思いますが、市独自で新規採用したら、その職員に10万円を支給したり、3年間市内の保育所などに転職してくれたら毎月2万円を3年間出したりしています。他には、住居費、引っ越し費などを出してもらえることも聞いております。せっかく採用したい保育士がいたとしても、他市の補助金との差で採用できない可能性もあります。

吹田市でも市の政策で是非そういった補助金を考えていただきたいと思います。もし今、計画や検討していることがあればお聞かせください。

吹田市： 保育士の確保が難しいことは私立保育所などから話を伺っております。吹田市としては、民営化園は一時的に苦勞されるとは思いますが、他の私立保育所などと同等に扱わないといけないと思います。民営化後については法人の努力で運営してもらうようお願い申し上げます。吹田市では在園児の福祉の増進を図るために保育対策費という補助金を出して、人件費や保育環境の整備費などに自由に使ってもらえるお金をお渡ししております。

他の市では採用するとお金を支給することやUSJの券を配るという話を聞きますが、果たしてそれで保育の質が守られるのかどうかは疑問に思います。

保護者としては、一時的だとしてもいい保育士さんが来ていただきたいと思いますが、まずはしっかり保育の中身を充実していただいて、それに共感する保育士さんを集めていただければと思います。吹田市ではそういった予算をこれから検討していきたいと思います。

保護者： 保育士の先生の仕事が減るのであれば、写真販売などの提案をどんどんしていただきたいと思っています。提案が受け入れられるかどうかは保護者などと話し合っただけでいき、より良い保育園にしていただければ嬉しいなと思います。

あと、来年の4月以降の人間関係が気になります。保育士をせっかく採用したのに人間関係が良くないことで減ってしまう可能もあると思うので、そのあたりのサポートを来年の4月を迎える前に保育士同士が顔合わせをする機会などがあるのかどうか、予定を教えてくださいなと思います。

耕心会： 1月から各クラスの担任予定者になる職員はすでに採用しており、現在は吹田くすのきこども園に勤務しながら月に1～2回程度、西山田保育園の合同保育をしている職員と顔合わせして、引継ぎしていることなどを共有しております。

1月から合同保育に入る職員も先月から保育などに入らせていただき、西山田保育園の様子を確認することで1月からスムーズにつながるようになっております。また、西山田保育園に働いておられる先生方とのコミュニケーションを早めにとって、できるだけ4月から大きな違いやストレスが起こらないように法人としてさせていただきます。

あと保護者会のアンケートの中で、先生方の事務処理や保育に専念できるような体制について御協力いただけるという意見は、本当にありがたいことだと思っています。まずは提案をさせてもらい、経緯や思いを伝えたくて保護者の方に

判断いただき、一緒に進めていけたらと思います。

保護者： 質問に対する回答についての意見です。回答の中でわかりにくい部分がありますので、質問の中でやってほしいということに対して、最初にYESかNOを書いていただき、NOの回答であれば、こういうことをしようと思っているという書き方が比較的わかりやすいと思います。断言できない部分もあると思いますので、そういった質問に対してはいつの時期に回答しますとさせていただければと思います。質問に対する回答に一つひとつ解消できるように御検討いただけたらなと思います。

吹田市： 検討したうえで今後対応させていただければと思います。

保護者： 写真販売のことでお聞きします。現行とWEB販売の提案で、WEB販売は先生たちの負担を減らせるし、私たちにとっても少しメリットがあるのかなと思いますが、保護者の皆さんは現行の写真販売で慣れてきているので、もう少し詳しい資料を作っていただけるとありがたいです。WEB販売の写真1枚あたりの費用は50円から60円とありますが、別途で送料がかかるのかなどをわかりやすく書いていただければと思います。

耕心会から写真販売の提案を受けて、私たちがこれからどうするかということを検討していかなければいけないと思いますが、私たちが決定したことを受けて、そのまま来年はやっていきますというお気持ちなのか、もしくは提案の1つなのかどうかをお伺いしたいと思います。

耕心会： まずは御提案になります。恐らく、すぐに意見がまとまりにくいと思いますので、保護者会さんで議論してもらって、回答いただいた内容で進めていきたいと思います。送料が別途かかるのかという内容は資料に記載がありませんでしたので、改めて作り直してお伝えできればと思います。その資料を御覧いただいて、もっとこういうことはできないのかということがあれば、それにお応えできるように対応してまいります。いつまでに決めたらいいかということも、資料に書かせていただきますので、よろしく願います。

保護者： 耕心会さんの話を聞いていると西山田保育園で行っていることを引継ぎできる

ようにということが前提にあります。吹田市の公立の保育を私自身が経験して、また自分の子供も経験しています。公立保育所の長い間蓄積した保育を知っているので、たった一年でできるのかなという不安しか募らなくて、そうであれば、耕心会さんからこういうことを変えていきたいという思いを聞いたら安心できるかなと思います。理事長さんの話などを聞いていたら、根本的な保育理念はほぼ同じだと思いますが、公立保育所で積み重ねてきた年数とは違うため、それを変えられないのは事実なので、そのあたりは気にせずと言ってほしいと思いました。

耕心会： 西山田保育園の合同保育に入って2か月程ですので、ここを変えたいということはまだなくて、まず何を大事にしているのか、なぜそうしているのかなどを職員の先生に話を聞いて、納得しながら進めているのが現状です。

西山田保育園で積み重ねてきた保育を引き継ぎますということが前提になりますが、そのまますべてを引き継ぐことは難しいと思います。そのため、どこまでできるのか、そのままスライドできるのかということは今後も保育に入ったり、行事などに参加したりして、変更したい内容があれば法人の中で検討していきたいです。保護者の方には次回の三者懇談会ぐらいに提案できるように計画していきます。保護者の皆さんが変更する内容をわかったうえで、来年の4月を迎えられるようにしていきたいと思っています。

保護者： 4月から民営化した藤白台保育園を耕心会さんが運営していると思います。藤白台保育園の様子を教えていただけたらと思います。また、想定以上にうまくいっているところ、そうでないところとかもあるかなと思います。想定通りにいかない部分に関しては、園がどういう対策を考えておられるのかを教えていただけたらありがたいと思いますので、よろしくお願いします。

耕心会： 藤白台保育園での課題を解決することは私たちにとって西山田保育園の運営をスムーズに移管できることだと思っています。何点かございますので、課題とどのように改善したかをお話しさせていただきたいと思っています。

まず、朝の受け入れについてです。藤白台保育園では職員数51名で4月からスタートしましたが、朝の受け入れの時に新しい先生がたくさんいるため、保護者の方がどの先生に預けていいかわからないということがありました。また、職員も保護者と子供の顔が一致していないので、どのようにお預かりすればいいかわ

からないということがありました。原因の一つに職員配置の方法がふさわしくなかったことがあります。パートの職員さんがたくさん残っていただきましたが、採用する際に勤務形態を朝夕の勤務からいずれか片方だけの勤務に変更してほしいという要望があり、それを受け入れました。そのことにより、保護者と子供の顔をわかる職員が少なくなってしまいました。西山田保育園ではパートさんと面談する時にそのままの勤務形態でお願いしたいと思っております。

次に朝の受け入れにも関わる内容ですが、あいさつや声掛けが少ないと保護者の方からお声をいただいています。保護者と子供の顔と名前が一致しないため、どうしても次への声掛けが遅れてしまうことがありますので、まずは積極的にお声がけするように意思統一したいと思っております。先生の顔と名前が一致しないのであれば名札をつける期間を長くするなどの具体的な対応を考えておりますので、西山田保育園でも大事にしていきたいです。来年の4月から来る職員には、まず保護者と子供の顔を一致させることを重要な引継ぎとして取り組み、事前に対応していきたいと思っております。

次に散歩や外遊びが減ったという保護者の声もいただいております。4月は、子供たちと担任との関係を築いてからでないとい外に出るのが難しかったのですが、その内容を事前に三者懇談会等で保護者の方にお伝えできておりませんでした。その結果、保護者の方から散歩に行く機会が減ったというお声がありました。西山田保育園では事前に変わる点などがあれば、三者懇談会等でしっかりお伝えできるようにしていきたいと思っております。

あとは、日々の保育のことやノートの書き方などがありましたので、西山田保育園の内容を見させていただいて、どう対応していくかを話していきたいと思っております。

保護者： 私からは要望です。皆さんいろいろ環境の変化を心配されていますが、子供は慣れてくれると思います。もし西山田保育園だからこそ、守りたいことがあれば、必ずしも耕心会さんだけでなく、保護者が守ったらいいと思います。

保育の歴史の中で、もともと公立保育所から始まったのではなく、いろんな声があって公立保育所ができた過程があります。しかし、今公立保育所がなくなっているという流れを私たちは受け入れないといけないと思います。そういった中で私たちに何ができるかを考えた時に、積極的な保護者が軸になって要望を作ればいいなと思っています。保育や介護などの職種は人手が不足していることもわ

かっていますので、耕心会には人材育成をしてもらえるための費用を生み出して、生活を確保していただきたいです。そのために私たちができることはやらないといけないと思っています。

耕心会： ありがとうございます。子供たちや私たちが楽しくて良い保育園であるためには、保護者の方のお力添えがなくてはならないものだと思います。

今回のアンケートを読ませていただいた中で、どうしてもこういう話し合いの場になると、ちょっと堅苦しい雰囲気になってしまうという御意見をいただきました。今後、合同保育が進んでいく中で具体的な話をさせていただきたいと思っています。また、うまくいったことやうまくいかなかったことも正直にお伝えさせていただきたいと思っております。もし、うまくいかなかったことをお伝えして、保護者の皆様の中で改善策や御意見などあれば教えていただきたいです。これから西山田保育園を保護者の皆様と一緒に作っていくという気持ちを大事にしたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

保護者： 吹田市の回答で人材確保のための予算が組めない仕組みを知りましたが、毎年かかる土地代 500 万円が 10 年分浮いてくるとお聞きして、耕心会さんはどのように運用しようとお考えなのかを具体的に知りたいと思います。

耕心会： 具体的に何パーセントをどのように配分するのは、すぐにお答えするのが難しいです。しかし、耕心会では法人の創設以来、非常にたくさん正規職員の雇用をしております。そのため、耕心会の予算全体で職員の人件費がかなり高い割合を占めております。他の法人ではパートやアルバイトの割合が高く、正規職員が少ないところがあります。

正規職員を雇用している理由としては、理念や日々の保育の手立てなどを共有できる先生方にお勤めいただきたいということがあります。それから、一度採用した先生には長くお勤めいただきたいという方針をしておりますので、安定して仕事をしていただける正規職員の雇用をしております。

その他には、保育の教材費にできる限り充てていきたいと思っております。この考え方は、今後も変えずにずっと守っていききたいと思っております。

そういった考え方で法人の運営をしているということを御理解いただけましたらありがたいと思っております。

6 閉会

吹田市： 他に御意見・御質問がないようでしたら、本日は終了時刻を過ぎておりますので、これで三者懇談会を終了いたします。次回の開催につきましては、耕心会や保護者会長と調整させていただきます。

本日は遅い時間まで御参加いただき、ありがとうございました。